

平成29年度進捗評価シート
桑折町歴史的風致維持向上計画（平成28年3月28日認定）
（最終変更平成30年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

| | |
|---|----|
| ①組織体制(様式1-1) | |
| 1 計画実施のための組織体制 | 1 |
| ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) | |
| 1 景観行政団体への移行と景観計画策定 | 2 |
| ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) | |
| 1 史跡桑折西山城跡等整備事業 | 3 |
| 2 史跡桑折西山城跡等周辺の誘導路及び駐車場整備事業 | 4 |
| 3 大榎遺跡(万正寺の大カヤ)周辺整備事業 | 5 |
| 4 桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業 | 6 |
| 5 屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業 | 7 |
| 6 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業 | 8 |
| 7 歴史・文化財学習講座事業 | 9 |
| 8 歴史案内人育成事業 | 10 |
| 9 小中学生の認識向上推進事業 | 11 |
| 10 桃源郷周遊型イベント支援事業 | 12 |
| 11 周遊性向上・案内板等整備事業 | 13 |
| 12 桃源郷周遊性向上事業 | 14 |
| 13 多言語周遊型観光パンフレット作成事業 | 15 |
| 14 文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業 | 16 |
| 15 地域の文化遺産の調査及び継承支援事業 | 17 |
| ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4) | |
| 1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など | 18 |
| 2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など | 19 |
| 3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など | 20 |
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) | |
| 1 「夢幻17年 桑折西山城」他 | 21 |
| ⑥その他(効果等)(様式1-6) | |
| 1 観光入込客数の推移について | 22 |

| | |
|--------------------------------|-----------|
| □法定協議会等におけるコメントシート(様式2) | 23 |
|--------------------------------|-----------|

評価軸①-1
組織体制

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

| | |
|--------------|---|
| 計画実施のための組織体制 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
|--------------|---|

計画に記載している内容
 計画を管理するまちづくり推進課が事務局となり、計画策定時と同様に関係各課で構成する「庁内推進会議」にて連絡調整を行う。また、国や県との関係機関と協議を行い、適切な支援を得る。桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画推進や変更、事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進する。必要に応じ、都市計画審議会や文化財保護審議会、文化財所有者、関係団体などと連絡・調整を行う。

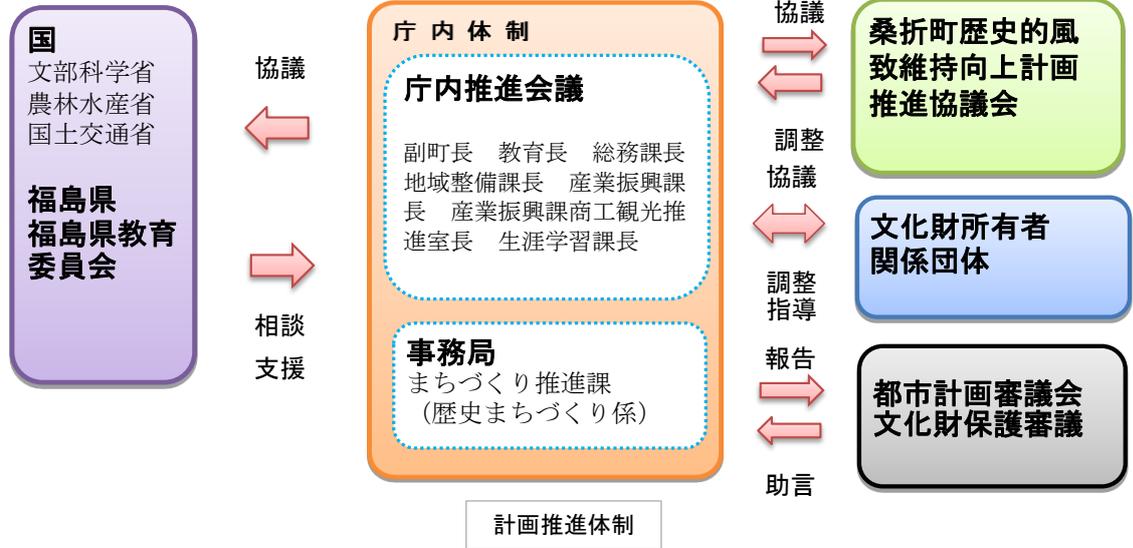
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

まちづくり推進課が事務局として、庁内推進会議で事業の実施に係る調整、情報収集、進捗管理等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

| | |
|--|-------------------------------|
| 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 庁内体制の中で、担当課の連携を密にし、事業を実施していく。 |

状況を示す写真や資料等



組織の変更
 平成29年度～ 庁内推進会議に産業振興課商工観光推進室長が加わり体制を強化

会議の状況
 庁内推進会議 平成30年2月19日
 文化財保護審議会 平成29年4月26日、平成30年2月5日
 桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会 平成30年4月18日
 各事業における打ち合わせ等は随時



平成30年4月18日
 桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

| 項目 | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|-------------------|--|--------|---|
| | | | 現在の状況 |
| 景観行政団体への移行と景観計画策定 | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

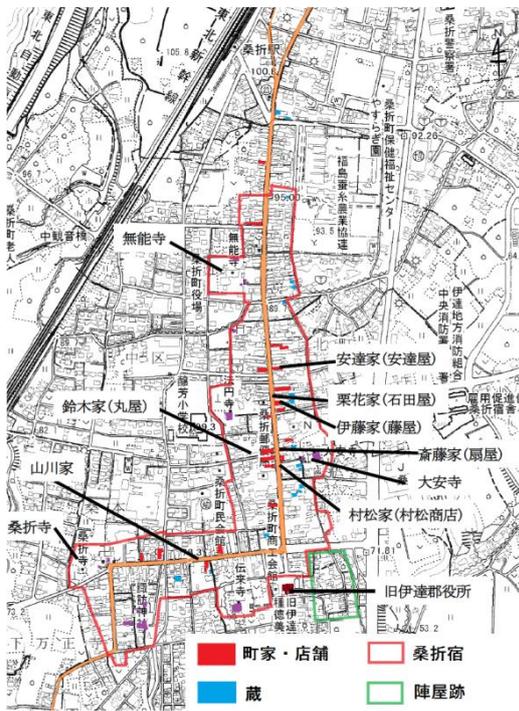
計画に記載している内容 福島景観計画に沿った規制を行う。また、重点区域内における建築物や工作物の建築・色彩の変更、開発行為その他の土地の形質の変更など一定の行為の制限に、自然と歴史的風致が一体となった良好な景観が形成されるよう町独自の制限を追加するため、景観行政団体への移行と景観法に基づく町独自の景観計画の策定を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的建造物の所有者に理解を求めめるため、桑折市街地に残される歴史的建造物の蔵等について再調査に着手した。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|-------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 調査が進行し、重点区域の結果がまとまったところで景観行政へ反映したい。 |

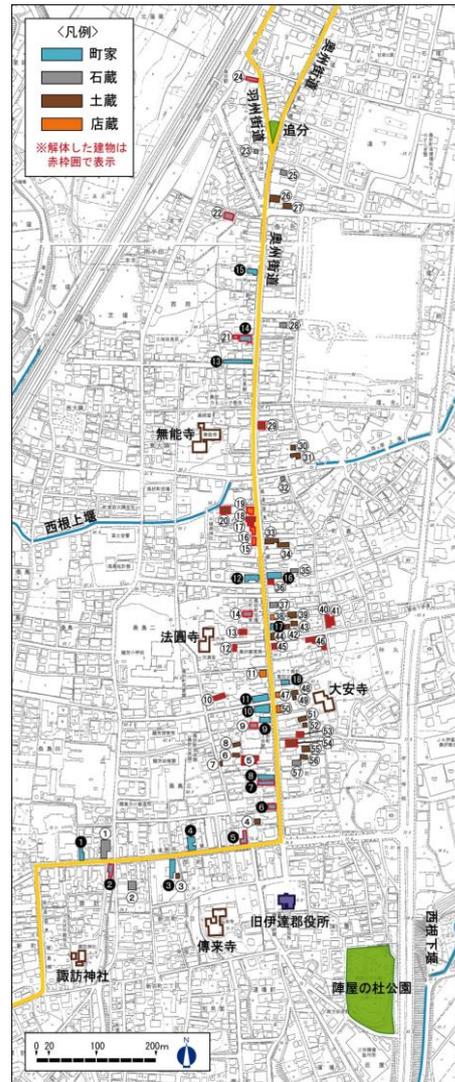
状況を示す写真や資料等



再調査範囲



中心市街地の歴史的建造物(安達屋)付近



再調査範囲

| 評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 史跡桑折西山城跡等整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成9年度～平成32年度 | | |
| 支援事業名 | 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業(文化庁国庫補助事業) | | |
| 計画に記載している内容 | 来訪者が戦国時代の山城を体験的に学習し、かつ、城跡からの眺望や自然を楽しみながら憩うことができる場所として、堀・土塁・大手道などの復元や遊歩道の整備、樹木の伐採、伊達氏関連遺跡の解説も含めたガイダンス施設設置などの整備を行う。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 29年度実績 本丸土盛工事(当初計画は28年度実施)2,107.5㎡ 本丸周辺樹木伐採 本数350本 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 整備計画を見直し、本丸の整備を優先的にやりながら、中館・西館や周辺は段階的に整備をしていく。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
|  | |  | |
| 本丸土盛工事 施工前 | | 本丸土盛工事 施工後 | |
|  | |  | |
| 本丸 周辺樹木 伐採前 | | 本丸 周辺樹木 伐採後 | |

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成29年度 現在の状況 |
|--------------------------|--------|---|
| 史跡桑折西山城跡等周辺の誘導路及び駐車場整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成29年度～平成33年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 史跡桑折西山城跡への道は未舗装となっており、整備が行き届いていない。史跡付近に広い駐車場が無く、アクセス道の道幅は狭いため、バスや大型の車で来訪に対応できないことから、桑折西山城跡整備事業に合わせて町道の改修と駐車場の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

図面を確認し、改修等が必要な箇所について調査を開始した。桑折西山城整備指導委員会の現地視察時には実際にワゴン車で各アクセス道を走行し、現地を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

町道や駐車場の整備については、既存施設の活用を含め、整備方法を検討する。

状況を示す写真や資料等



桑折西山城跡内の本丸までの道路



西山城跡までの各アクセス道で大型バスの乗り入れが難しい箇所を点検

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 大榎遺跡(万正寺の大カヤ)周辺整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成29年度～平成33年度 | | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 桑折西山城跡への大手道の手前に位置する大榎遺跡は、伊達氏関連の遺跡であるとともに、伊達氏関連の言い伝えが残る福島県指定天然記念物「大カヤ」がある。史跡桑折西山城跡の整備に併せ、伊達氏関連遺跡の一つとして、また、城跡へのアプローチの際の休憩場所として整備する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 福島県指定天然記念物「大カヤ」の枝張りの傘下に民有地があるため、大カヤの保護のために町有地としての取得が可能かについて検討を開始した。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 樹勢が拡大してきている大カヤの保護を第一に考えながら周辺整備を進めていきたい。 | | |

状況を示す写真や資料等



福島県指定天然記念物 万正寺の大カヤ



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|---------------------------|---|--------|
| | 現在の状況 | |
| 桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成28年度～平成37年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 桑折宿内に残っている歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物について、修理・修景する際の費用の一部を助成し、定期的に一般に公開する。また、未指定の歴史的建造物についても、街道に面している部分を修景する場合の費用の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の再調査に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

調査成果から修景する範囲・方法を検討して都市再生整備計画に盛り込み、修景補助の実施予定年度(平成33年度～)に遅滞なく事業を行えるよう準備にあたる。

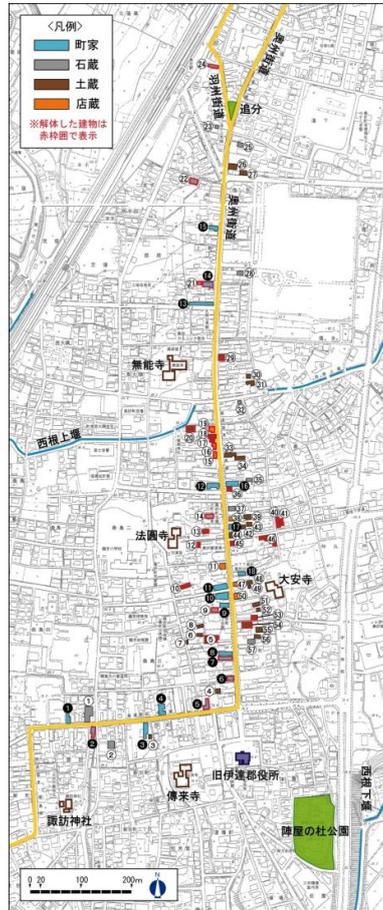
状況を示す写真や資料等



再調査範囲図



中心市街地に残る歴史的建造物(石田屋)



再調査範囲図

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成29年度 現在の状況 |
|--------------------------|--------|---|
| 屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成29年度～平成37年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 重点区域内の歴史的風致を形成する建造物等の周辺に存在する屋外広告物のうち、歴史的風致の風情を阻害する屋外広告物を周辺景観に配慮したものに改修する場合、費用の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内の歴史的風致を形成する建造物等の周辺に存在する屋外広告物について調査に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

調査成果から修景する範囲・方法を検討して都市再生整備計画に盛り込み、平成30年度に策定予定の都市再生整備計画をふまえながら事業を進めて行く。

状況を示す写真や資料等



現在の桑折宿の町並み① 石田屋付近



現在の桑折宿の町並み② 大安寺付近



現在の桑折宿の町並み③ 丸市屋付近

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成29年度 現在の状況 |
|----------------------|--------|---|
| 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成28年度～平成37年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 歴史や文化財を活かしたまちづくりや街並みや桃源郷の風景などの景観の維持・向上に関する住民向けの講演会やシンポジウムを開催する。また、史跡桑折西山城跡の完了後、「全国山城サミット連絡協議会大会」の誘致を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年10月8日 歴史まちづくり講演会開催(100名参加)
 平成29年11月25～26日 全国山城サミット佐野大会視察(文化財保護審議会委員先進地視察研修)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

より理解が深まるよう、種徳美術館や旧伊達郡役所で、歴史まちづくり講演会のテーマと連動した内容の企画展を開催する。また、全国山城サミット大会の誘致に向けて方法や時期を含め具体的な準備を進めて行く。

状況を示す写真や資料等



歴史まちづくり講演会
 「西根堰開削の歴史」「西根堰の土木史」
 町内外から100名が参加



歴史まちづくり講演会講師によるナイトミュージアムでの
 ギャラリートーク
 講演会と併せた企画展で、さらに理解を深めた



平成29年11月25・26日
 山城サミット佐野大会視察



山城サミット佐野大会でブースを出展
 全国の山城ファンへ桑折西山城をアピール

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 評価対象年度 | | 平成29年度 |
|--|---|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 歴史・文化財学習講座事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 事業期間 | 平成28年度～平成37年度 | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | |
| 計画に記載している内容 | 本町の歴史的風致への理解を求め、地域住民を対象に本町の歴史や文化財に関する学習講座を開催する。また、桑折町文化財保存会と連携しながら町内の小・中学生を対象に出前講座や現地説明会等を実施する。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 平成29年5月13日「こおり歴史散歩 西山城を訪ねて」(雨天中止により旧伊達郡役所「桑折西山城と伊達氏の戦国時代展」見学) 平成29年8月11日「桑折町歴史たんさく会」(町商工会主催、後援) 平成29年10月28・29日、11月11・12日、12月2・3日「伊達氏ルーツと桑折宿探索ツアー」(町商工会主催、後援) | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 歴史的風致への理解が深まるような講座を開催できるよう、文化財保存会や学校と連携しながら「桑折町歴史案内人」を活用し事業を実施していきたい。 | |

状況を示す写真や資料等



旧伊達郡役所「桑折西山城と伊達氏の戦国時代展」のギャラリートーク
平成29年5月13日 参加者8名



「桑折町歴史たんさく会」
平成29年8月11日 参加者9名



伊達氏ルーツと桑折宿探索ツアー
「伊達氏本城西山城と伊達五山」 平成29年10月28日
参加者19名

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|--|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 歴史案内人育成事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成28年度～平成32年度 | | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 本町を訪問する観光客や小中学生の児童・生徒に対し、本町の歴史や伝統文化、町並み、観光スポットなど本町の魅力について語ることができる人材を育成するため、案内人の養成・研修を目的とした講習や現地視察等を実施する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 歴史的背景の説明や観光案内ができる歴史案内人を育成するため、文化財保存会会員と町商工会会員を対象とした「桑折町歴史案内人育成講座」を開催した。講座修了者に修了証を交付し、「桑折町歴史案内人」に登録してもらった。 平成29年12月16日 第1回「伊達氏発祥の地」(8名参加) 平成30年1月14日 第2回「桑折宿と街道」(9名参加) 平成30年 1月28日 第3回「ボランティア案内ガイドにおける要点と手法」(7名参加) 平成30年3月3・10日 桑折宿まちなか歴史探訪「伊達氏発祥の地を歩く」(20名参加)「桑折宿に江戸と明治の昔をしのぶ」(20名参加)の2コースで講座修了生がガイドを行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 歴史案内人育成講座を継続して開催し、今後も引き続き人材を育成していく。 | | |

状況を示す写真や資料等



歴史案内人育成講座 平成29年12月16日
第1回「伊達氏発祥の地」参加者8名



全講座終了後、受講者に修了証を交付



桑折宿まちなか歴史探訪 平成30年3月3日・10日 各日20名参加
歴史案内人育成講座修了生がガイドを行った

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|---------------|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 小中学生の認識向上推進事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

事業期間 平成28年度～平成37年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 町内の小中学校と協力しながら、後世への伝承者である小中学生に本町の歴史や文化遺産に関する知識を持ってもらうため、桑折町を総合的にかつ分かりやすく説明する教材を作成するとともに、桑折町文化財保存会やボランティアガイドと連携し、実地説明を行うなど、子供たちが体験しながら学べるような授業を開発する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町の歴史や文化に興味を持ってもらうため、町商工会主催「桑折町歴史たんさく会」の支援事業を実施した。また、町文化記念館事業として「美術館に年賀状を送ろう」を実施した。
中学生の全学年に「桑折学のすすめ」を配布して活用してもらっている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 学校側と連携し、小・中学生の学習機会を増やしたい。歴史案内人制度を活用することで案内人活動にも興味を持ってもらえるようにしていきたい。

状況を示す写真や資料等



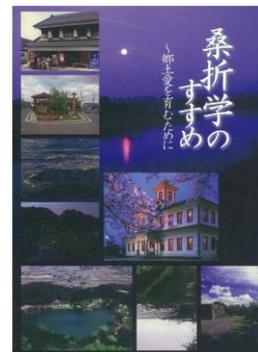
平成29年8月11日「桑折町歴史たんさく会」
 小中学生や保護者対象に実施 参加者9名
 夏休みを利用して親子で参加 案内人と町中を歩き、歴史を学んだ



「美術館に年賀状を送ろう」
 町の文化財や文化に親しみをもってもらうため企画し、小中学生にチラシを配布



美術館に寄せられた年賀状



「桑折学のすすめ」
 中学生の全学年に配布し、活用してもらっている

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 評価対象年度 | | 平成29年度 |
|--|--|---|
| 項目 | | 現在の状況 |
| 桃源郷周遊型イベント支援事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 事業期間 | 平成28年度～平成31年度 | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | |
| 計画に記載している内容 | 阿武隈川氾濫原の果樹畑(桃源郷)周辺で花が咲いている時期や実が成る時期に行うイベントに対して支援を行う。 | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 昨年度に引き続き果樹畑周辺でのイベント「献上桃の郷BBQフェス 2017」を行った。町内外から約1,000名が参加した。イベントを通して桃源郷といわれる辺り一面ピンク色の桃畑の風景を楽しんでもらい、「桑折町クイズ」を通して町の魅力を発見してもらいながら町に親しみを持ってもらった。 | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | イベント終了後も継続的に来町してもらえるような魅力づくりが課題。 | |

状況を示す写真や資料等



こおり桃源郷BBQフェス2017 ポスター

こおり桃源郷BBQフェス 参加者約1,000名

| 評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 周遊性向上・案内板等整備事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成28年度～平成37年度 | | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 町民や来訪者が、歴史的建造物や文化財等を楽しみながら効率よく巡ることができる散策ルートを検討・設定する。併せて、今後作成する案内板等の作成基準となる統一デザインを定めるとともに、散策ルートに合わせた案内板や案内標識、説明板の新設や更新を行う。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 老朽化や見えにくくなっている案内板の更新準備のため、案内板の現状を調査した。老朽化し文字が見えなくなっていた看板の塗り替えを行った。(1件) | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 案内板の維持管理をしながら利用できるものは引き続き利用していく。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
|  |  |  | |
| 旧伊達郡役所案内板 (文字が薄くなってきている) | 広域案内図と周辺案内図 (周辺案内図を一部修正) | 追分分岐点案内板 (板面の塗り替えが必要) | |
|  |  |  | |
| 伊達朝宗の墓案内板 (現状維持) | 史跡桑折西山城跡 (史跡公園整備に合わせ、統一デザインに更新予定) | 歴史の小径・自然の小径の案内板 (現状維持) | |
|  |  |  | |
| 万正寺の大力ヤ (字が薄れてきている) | 半田銀山遺跡 (現状維持) | 桑折陣屋跡 (現状維持) | |

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|------------|--------|--|
| 桃源郷周遊性向上事業 | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成29年度～平成33年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 阿武隈川氾濫原の果樹畑(桃源郷)を印象的に体験できる周遊ルートの検討や案内看板の設置、駐車場・展望スペースなどの周辺環境の整備など、阿武隈川とも一体となった桃源郷の周遊性の向上を図る事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「こおり桃源郷」を望む舞台・阿武隈川を軸に、まちとかわを結び多様な交流活動を展開し、近隣市町からのアクセス・連携を強化し、まちとかわの回遊・体験空間を形成することを目指して「桑折地区かわまちづくり計画」の登録を申請し、平成30年3月26日に登録された。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
回遊・体験に訪れる方々を現地に引き込む案内表示や導線づくり、活用・維持管理について関係団体との連携や協力といった体制づくりをしていきたい。

状況を示す写真や資料等



「桑折地区かわまちづくり計画」平成30年3月26日登録



平成30年3月29日
「桑折地区かわまちづくり計画」登録証伝達式

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 多言語周遊型観光パンフレット作成事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成29年度～平成31年度 | | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 歴史的な町並み、文化財の分布、町の歴史などを網羅し、それらを堪能できる散策ルート等を紹介するパンフレットを作成する。なお、パンフレットは英語、中国語などの多言語のバージョンも併せて作成する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 桑折町のシンボルとなっている重要文化財『旧伊達郡役所』の英語表記パンフレット作成を検討中。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 外国人の来町状況を把握し、ニーズに合わせた内容や言語でパンフレットを作成したい。 | | |

状況を示す写真や資料等



「在日外国人との協働による国内外への情報発信事業」平成29年12月2日 4名参加
 外国の方が旧伊達郡役所で日本文化を体験し、フェイスブックやブログで魅力を発信



英語表記での作成を検討しているパンフレット(日本語版)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 昭和42年度～平成37年度 | | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 文化財等の保存・活用に関わっている団体や歴史を活かしたまちづくり団体と連携しながら、本町の歴史や文化財等の啓発を行う活動や後継者育成のための事業などの支援を行う。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| 補助対象: 文化財保存会、桑折町祇園ばやし振興会 (2団体、2件) 後援: 町商工会主催 伊達氏ルーツと桑折宿探索ツアー事業「桑折町歴史たんさく会」「伊達氏本城 西山城と伊達五山」「伊達氏ゆかりの史跡めぐり」「奥州街道と羽州街道の追分・桑折宿探索」 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 関係団体とさらに連携を密にしながら活動や事業の支援を進めていきたい。 | | |

状況を示す写真や資料等

伊達氏ルーツと桑折宿探索ツアー 「伊達氏本城西山城と伊達五山」 平成29年10月28日 参加者19名



参加者アンケートで人気が高かった西山城の土塁を実際に歩く



桑折西山城跡の眺望を楽しむ



桑折西山城を築いたとされる伊達氏初代・朝宗の墓所

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|--|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 地域の文化遺産の調査及び継承支援事業 | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 調査:平成28年度～32年度 継承支援:平成28年度～37年度 | | |
| 支援事業名 | 町単独事業 | | |
| 計画に記載している内容 | 町内には詳細な調査・研究がされてこなかった歴史的建造物や文化財、祭礼などの文化遺産が多く残っている。それらの総合的な把握と記録保存などの学術的な調査を行い、データベース化を図る。併せて、活動ができるよう、伝統的な用具や衣装の修繕や担い手育成などの活動に対して、調査に基づく支援を適正に行う。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | |
| 福島県文化財保護審議委員の狩野勝重氏による調査報告書の提出があった「観音寺観音堂」を、H29年度に町の指定文化財に指定した。 また、地区で行われた祭礼を取材調査した。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 今後も未調査の民俗文化財の調査・記録保存を継続する。 | | |

状況を示す写真や資料等



八幡神社祭礼を取材調査
平成29年4月15日



荒屋敷薬師堂 八十八夜の数珠回しを取材調査
平成29年5月2日



町指定文化財に指定した観音寺観音堂

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|--------------------------|---|--------|
| | 現在の状況 | |
| 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容 これまでの調査・研究を活かし、現状及び実態の把握に努め、リストアップしデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、指定に向け取り組む。歴史的建造物については、以前の調査結果を活用しながら、調査を行う。祭礼や伝統行事などの無形民俗文化財について、次世代に残すために調査・記録保存をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

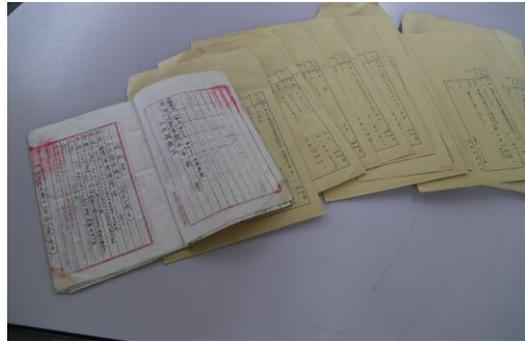
観音寺観音堂を町の指定文化財に指定した。
民俗文化財の調査として、各地区で行われた祭礼を取材調査した。(2件調査)
旧家の文書について目録を作成するため、資料を整理中。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 今後も未調査の民俗文化財の調査・記録保存を継続する。整理した旧家の文書を公表できるように体制づくりをする。 |

状況を示す写真や資料等



町指定文化財に指定した観音寺観音堂



町内の歴史ある各旧家が所有する文書を管理保存するため、整理し、目録を作成



八幡神社祭礼を取材調査



八幡阿部館跡遺跡で試掘調査を実施

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|-----------------------------------|---|--------|
| | 現在の状況 | |
| 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |

計画に記載している内容 文化財の修理や整備にあたっては、法令に基づき、また、文化庁等の関連機関の指導を受けつつ実施する。民間所有の文化財の修理にあたっては、補助金等の支援を行い、各種財団等の補助制度の活用を行う。文化財周辺の整備は、当該文化財や周辺環境との調和のとれたものとする。防火対策は、法令に基づいた適切な予防対策をとり、文化財防火デーの取り組みなどで文化財保護への関心を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財に親しむ取り組みとして、史跡桑折西山城跡の町民ボランティア草刈りを行った(参加者約70名)。草刈終了後、希望者に町の重要文化財に指定した観音寺観音堂の説明会を行った。旧伊達郡役所のき損箇所について、修繕を行った。文化財防火デーの取り組みとして、消防署や消防団と協力し、防火訓練を行った(参加者130名)。今年度は文化財保存会会員も初の放水訓練体験に取り組み、火災への備えを確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

野生のイノシシによる被害を防ぐため、防護柵の設置が必要である。地元町内会と連携して対応する。

状況を示す写真や資料等



史跡桑折西山城跡草刈ボランティア
地元住民や地元企業など約70名が参加



史跡桑折西山城跡の草刈後、新たに町指定文化財となった「観音寺観音堂」を説明



消防団員による放水訓練

文化財防火デーに合わせ重要文化財旧伊達郡役所で防火訓練を実施(平成30年1月21日 参加者130名)



文化財保存会員がスタンドパイプで放水訓練を体験

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|---|--------|--|
| 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など | | 現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

計画に記載している内容
 桑折西山城跡等の文化財について歴史講座を開催したり、歴史や文化財を活用したイベントなどを行い、認識を深める。パンフレットやマップ、案内板、ボランティアガイドなどを充実させる。文化財保護団体や伝統芸能団体への支援を行い、活発な活動を行えるようにする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

選奨土木遺産「西根堰」をテーマに、10月に歴史まちづくり講演会を行った。講演会に併せて美術館企画展「西根堰の歴史と文化」、旧伊達郡役所で特別展「西根堰の歴史とめぐみ」を開催した。11月には福島民友社主催「西根堰ふるさとウォーク」の後援をした。単発ではなく複数の講座や展示、イベントを連動させることで、理解をより深めてもらうことができた。文化財を保護しつつ活用するため、3月に旧伊達郡役所を会場とした「郡役所カフェ」を開催した。カフェと同時開催の「桑折宿まちなか歴史探訪」では桑折町歴史案内人育成講座修了生が歴史案内人を務め、来訪者から好評を得た。

進捗状況 ※計画年次への対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成30年度から活動を開始する歴史案内人制度を広く周知し、活用してもらえるよう体制を強化していく。

状況を示す写真や資料等



歴史まちづくり講演会
 「西根堰開削の歴史」「西根堰の土木史」
 平成29年10月8日 参加者約100名



種徳美術館企画展
 「西根堰の歴史と文化」
 平成29年10月3日～12月17日
 来館者474名



西根堰ふるさとウォーク
 平成29年11月4日 参加者約650名



旧伊達郡役所「桑折西山城と伊達氏の戦国時代展」
 平成29年3月14日～6月25日
 来場者約1,700名



「(献上桃の郷)魅力発信プロジェクト 旧伊達郡役所カフェ」
 平成30年3月3・4日 来場者約400名



(献上桃の郷)魅力発信プロジェクト 桑折まちなか歴史探訪
 平成30年3月4日 参加者20名
 「伊達氏発祥の地を歩く」
 平成30年3月10日 参加者20名
 「桑折宿に江戸と明治の昔をしのぶ」

評価対象年度 平成29年度

項目

観光入込客数の推移について

計画に記載している内容 歴史的風致の維持向上を図ることで、町民の意識が向上し、観光を中核とした交流人口の増加が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

旧伊達郡役所入館者数 平成26年度4,723人、平成27年度8,881人、平成28年度10,256人、平成29年度5,594人
 桑折西山城跡来場者数 平成26年度307人、平成27年405人、平成28年度370人、平成29年度486人
 そのほか、仙台圏の住民を対象としたモニターツアーや、在日外国人との協働による国内外への情報発信事業、旧伊達郡役所カフェや桑折まちなか歴史探訪などを行い、交流人口増加の試みを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
 ■計画の進捗に影響なし

来町者のニーズを把握するためアンケート等を実施し、データを蓄積して今後の事業展開に活かしていきたい。

状況を示す写真や資料等



平成29年8月10日
 「24年連続の献上桃 最高品質の桃を学び、食べよう」



平成29年12月17日
 「桑折町の米・水を金賞受賞蔵元で仕込む純米吟醸にごり酒仕込み体験ツアー」



平成30年3月3日・4日
 「(献上桃の郷)魅力発信プロジェクト 旧伊達郡役所カフェ」



「(献上桃の郷)魅力発信プロジェクト 桑折宿まちなか歴史探訪」
 平成30年3月3日 「伊達氏発祥の地を歩く」
 平成30年3月10日 「桑折宿に江戸と明治の昔をしのぶ」

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

| | |
|--|--------|
| 評価対象年度 | 平成29年度 |
| ・法定協議会等におけるコメント | |
| コメントが出された会議等の名称：桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会 | |
| 会議等の開催日時：平成30年4月18日 午後2時～午後4時10分 | |
| <p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観計画作成について、歴史的なものとはいえ一般的な市街地と考えると、最初から完璧でなくてもやれる所からやるように進めるべき。いろいろ盛り込むより、“町の想い”を入れた計画を立てるとよい。 ・史跡桑折西山城跡整備について、大型バスを入れるのもよいが、あまり便利にせず、不便さも残し“山城”を意識してもらおうという視点もよいのでは。 ・史跡桑折西山城跡整備指導委員会の計画と、歴史的風致維持向上計画とをどういう風にリンクさせていくか、関連性を示した方がよい。 ・史跡桑折西山城跡へのアクセス道については、来場者を西山城からどのように町中に案内するかまでを考えて作ったらよいのではないか。そういう視点での見直しもあったらよいのではないか。 ・修景を形成建造物指定までするとすれば、計画が終わったら消えてしまわないように景観計画でラベリングできるようにした方がよい。 ・西根堰から南北に引いている堀を地図に表記してほしい。景観には建物だけでなく堀も重要。町の中の水路は良い観光スポットとなる。 ・建造物は使われていることが必要なので、建物自体を開くことに対する助成があるとよい。 ・最近スマートフォンを使用する人が多いので、案内板はあまりこだわらずメンテナンスまで考えて作るとよい。文字だけではなくネットも含めて検討をする。 ・ボランティアガイドは最前線で頑張っている方なので、現場に即した意見をもらう意見交換会を行うとよい。 ・ボランティアガイドは世代交代も考えて育成事業は毎年やっていくとよい。 ・学校との連携について、積極的に働きかけて学校側と連携した事業をもっと行ってほしい。 ・多言語パンフレットは何語で作ったらよいのかよく考えて、需要に合った言語で作成するように。アンケートを取る等、町外のどこから来たのか概数は把握しておいた方がよい。 ・計画実施に伴う予算の計画もしっかり立てること。 ・近隣市町と同じ日にあえてイベントを設定するのもよいのではないか。相乗効果も期待できる。 ・庁内体制の中で担当課の連携を密にし、事業を実施していくこと。 | |
| <p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係する課との連携を密に事業の推進をしていく。 ・スケジュール管理をだれが見てもわかるようにする。 ・先進事例の視察を行い、事業の推進方法を検討する。 | |